

山鹿和栗の魅力と発展

鹿本高校1年

1. 要旨 abstract

By researching and summarizing Yamaga's specialty, chestnuts
We thought that we could learn about Yamaga and teach others about it.
We also hope to develop products related to Yamaga chestnuts.

2 背景・現状

西日本一の生産量を誇る山鹿和栗

「山鹿和栗」は西日本一の生産量を誇る熊本県山鹿市の代表的な特産品。山鹿市で栗の栽培が盛んになったきっかけは、昭和36年の果樹振興法ができ、重点果樹に指定されてからである。特に菊鹿地域や鹿北地域で昭和30年代後半から40年代初期にかけて、国の農業構造改善事業等により、約50ヘクタールの集団栗園が形成されたのが始まり。今では台風等の自然災害の影響を受けなければ、毎年700トン以上の生産量がある。

参考：山鹿洋菓子店An(杏)

山鹿市の観光

近年の山鹿市全体の観光客数は、平成15年、16年の394万人をピークに、平成20年には335万人となっており減少傾向にある。また、山鹿商工会議所管内を見ると、平成16年と比較して、9.2%の減少がみられる。



引用：熊本県 観光戦略部 観光企画課

3 結果・探求

利平（りへい）

収穫時期9月下旬～10月上旬
黒い果皮が特徴の人気品種。果肉は淡黄白色で甘みと香りが強い。



銀寄（ぎんよせ）

収穫時期9月下旬～10月上旬
筑波と並ぶ山鹿和栗の代表格の品種。やや小玉で、果肉は白色。きめ細やかな舌触りで風味豊か。甘みも多い。



筑波（つくば）

収穫時期9月下旬～10月上旬

山鹿市で最も生産量が多い品種。外観ツヤがあり、しっとりとした肉質と甘みが特徴。貯蔵性が良く、加工用原料としても使用される。



丹沢（たんざわ）

収穫時期8月下旬～9月上旬
最も早く収穫される品種で、三角果形が特徴。早生種の中では甘味が多く、品質が良い。



4 結論・今後の展望

山鹿和栗の魅力がわかったと同時に、この栗がまだ広く知られていないことをもったいないと感じるようになりました。今後、この栗の魅力をもっと広めるために実際に山鹿和栗のスイーツを食べてみたり、他の栗との食べ比べを行いたいと思っています。また、山鹿和栗に限定せず栗自体の特性や魅力についてもこれから探求し、山鹿和栗の知名度向上に利用していきたいと思っています。

5 参考文献一覧

山鹿洋菓子店An(杏)▶山鹿和栗について

<https://www.oyatu-an.com/waguri>

YouTube(山鹿探訪)▶山鹿和栗

<https://youtu.be/6CxPLjDPcsg>

熊本県 観光戦略部 観光企画課▶熊本県観光統計表2020年度（令和2年度）

https://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/life/6411_126374_misc.pdf

山鹿商工会議所▶経営発達支援概要の計画

https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/shokibo/nintei_download/43-57.pdf